

政策統括官賞



お米で育った畜産物

受賞
(ブランド名) つがる豚

株式会社 木村牧場
(青森県)



【会社概要】

- 名称：株式会社 木村牧場
(青森県つがる市木造丸山竹鼻)
- 農場：つがる市 1農場
- 飼養頭数：母豚 約1,350頭飼育の一貫経営
年間 約33,000頭出荷
- ブランド開始：平成28年～
- ブランド名：「つがる豚」



津軽から世界の食卓へ

つがる豚

【受賞者の米活用畜産物ブランド化の取組】

世界遺産の「白神山地」から流れる岩木川流域の津軽平野で生産された飼料用米を飼料に4割以上配合。「リキッドフィーディングシステム」を導入し、近隣市町から集荷した食品リサイクル原料を20種類以上使用した飼料づくりは、自社工場で設計されたオリジナルで、地産地消と安心安全が配慮されています。

つがる豚は、養豚先進国であるオランダで計画的な交配で作りに出された品種で、それぞれの成長に応じたベストな環境のもとで育成されており、肉質はさっぱりとした良質な脂のうま味と柔らかくてジューシーな食感のバランスが絶妙となっています。

【高付加価値化の取組】

- 衛生管理面等を徹底した、近代的で広々とした清潔な豚舎でのびのびと育つ環境づくりに、日々、取り組んでいます。
- 平成29年度にHACCP認定農場として認定を受けており、30年度にはJGAPの認証を取得しています。
- 生活環境を注意深く観察し、病原菌等の侵入やストレスから守り、ベストな飼育環境下で健康な豚を育成しています。



【システム導入と飼料用米活用で地域貢献】

- 飼料用米の配合に「リキッドフィーディングシステム」を導入し、コンピューター管理下で「エコフィード」飼料を混合させ、バランスが良く取れた飼料を給与しています。
- 近隣9市町の耕種農家160戸と契約し、約5千トンの飼料用米を受け入れて、国内最大の飼料用米専用倉庫（最大容量7千トン）を2棟稼働させるとともに、飼料工場から出る粕殻等を活用した堆肥を地域に安価で還元することで地域循環型農業の推進に邁進しています。



【つがる豚の特徴】

- 衛生管理が近代的で広々とした清潔な豚舎で、病原菌等の侵入やストレスから守られた、健康体に育成されている。
- さっぱりとした良質脂のうま味と柔らかく、ジューシーな食感が、とてもバランスが良く絶妙です。
- ビタミンB1やオレイン酸が、一般の豚より多く含みます。
- オランダ国作出であるハイポー品種で、「三元豚」にももう1品種を掛け合わせた「四元豚」です。

